

会

議

午前10時 0分開会

議長（大黒孝行君） おはようございます。

ただいまの出席議員は定足数に達しております。よって、平成24年8月下田市議会臨時会は成立いたしましたので、開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

会期の決定

議長（大黒孝行君） 日程により会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期臨時会の会期は本日1日間といたしたいと思えます。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大黒孝行君） ご異議はないものと認めます。

よって、会期は1日間と決定いたしました。

なお、会期中の会議予定につきましては、お手元にご通知いたしました案のとおりでありますのでご承知願います。

会議録署名議員の指名

議長（大黒孝行君） 次は、日程により会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第78条の規定により、議長において、1番 竹内清二君と12番 増田 清君の両名を指名いたします。

諸般の報告

議長（大黒孝行君） 次は、日程により諸般の報告を申し上げます。

最初に、議長会関係について申し上げます。

7月3日、静岡県市議会議長会の正副会長・監事会議が沼津市で開催され、私と田坂副議長が出席をいたしました。正副会長・監事会議では、本会の平成23年度会計決算、平成24年度議長会行事等について協議を行いました。

次に、特別委員会の行政視察について申し上げます。

7月5日から6日の2日間、議会改革特別委員会が、愛知県犬山市、三島市及び富士市の議会中継及び報告会等に関する取り組みについて、それぞれに視察されました。その報告書をお手元に配付してありますのでご覧ください。

次に、ニューポート親善訪問について申し上げます。

7月17日から7月24日までの8日間、下田市と国際姉妹都市でありますニューポート市の第29回黒船祭に参加をするため、私を団長として10名の参加者で渡米をいたしました。ニューポート市では黒船祭式典への参加を初め、姉妹都市の交流会等の行事にも参加し、両市の親善と友好を深めてまいりました。

次に、式典関係について申し上げます。

6月16日、第七艦隊の旗艦ブルーリッジ艦上でレセプションが挙行され、私と副議長が出席をいたしました。

7月14日、水師提督ペリー上陸記念式典が横須賀市で挙行され、田坂副議長が出席をいたしました。

次に、他市からの行政視察について申し上げます。

7月25日、東京都荒川区議会の文教・子育て支援委員会の議員4名が、区外所管施設に係る意見交換として防災に関することについて視察をされました。

次に、昨日までに受理いたしました陳情書1件でございます。

東京都杉並区の菅原夏実氏より送られてきました「静岡県における震災瓦礫処理についての陳情書」でございます。以上1件につきまして、その写しを配付いたしておりますのでご覧ください。

次に、今臨時会に市長から提出議案の送付と、説明員として出席する旨の通知がありましたので、係長をして朗読をいたさせます。

庶務兼議事係長（遠藤逸郎君）朗読します。

下総庶第107号。平成24年8月1日。

下田市議会議長、大黒孝行様。静岡県下田市長、楠山俊介。

平成24年8月下田市議会臨時会議案の送付について。

平成24年8月1日招集の平成24年8月下田市議会臨時会に提出する議案を別紙のとおり送付いたします。

付議事件。

報第12号 専決処分の承認を求めることについて（平成24年度下田市一般会計補正予算

(第4号)、議第36号 副市長の選任について。

下総庶第108号。平成24年8月1日。

下田市議会議長、大黒孝行様。静岡県下田市長、楠山俊介。

平成24年8月下田市議会臨時会説明員について。

平成24年8月1日招集の平成24年8月下田市議会臨時会に、説明員として下記の者を出席させるので通知いたします。

記。市長 楠山俊介、教育長 野田光男、企画財政課長 滝内久生、総務課長 名高義彦、市民課長 峯岸 勉、税務課長 前田眞理、会計管理者兼出納室長 鈴木孝子、監査委員事務局長 大野信夫、建設課長 土屋範夫、上下水道課長 平山雅仁、観光交流課長 稲葉一三雄、産業振興課長 山田吉利、健康増進課長 平山廣次、福祉事務所長 原 鋪夫、施設整備室長 土屋和寛、環境対策課長 大川富久、教育委員会学校教育課長 土屋 仁、教育委員会生涯学習課長 佐藤晴美。

以上でございます。

市長あいさつ

議長（大黒孝行君） 本臨時会は、楠山市長就任後初めての議会であります。この際、市長から発言を求められております。これを許可いたします。

〔市長 楠山俊介君登壇〕

市長（楠山俊介君） おはようございます。

8月臨時市議会開催に当たりまして、議長並びに議会運営委員会の皆様により温かいご配慮をいただきまして、市民の皆様並びに議会の皆様方に就任のあいさつをさせていただきますことを感謝申し上げます。

去る6月24日の選挙によりまして、市民の皆様のご支援をいただきまして、無投票という形ではありましたが当選することができました。7月5日初登庁、今後4年間の市政を担当させていただくことになりました。よろしく願いをいたします。

私は、このまちの前進のために、観光まちづくり、安心まちづくり、実践まちづくりの必要を訴えてきました。

観光まちづくりは、営みが活きるまちとしての経済活性であります。このまちの中核産業は観光であり、観光は総合産業、地域の総合力であります。海、食、歴史等、一つ一つの特有な資源を磨き上げ質を高めていくことにより、そして各地域、各産業との連携を広く、深

く、強くしていくことにより、循環型の地域経済を確立していくことが必要であります。

安心まちづくりは、暮らしが和む町としての生活環境整備であります。市民の皆様が安心で安全、文化度ある心豊かな暮らしを実現し継続していくことが行政の大きな役割であり、責任であります。医療福祉、教育子育て、自然環境、文化歴史、交通防災等々の各分野におきまして、事情や地勢を踏まえた高度な考えと独自の取り組みが必要であります。

実践まちづくりは、志がはぐくまれるまちとしての人間力、住民力、行政力の構築であります。「暮らす人も訪れる人も快適なまち『快国』下田をめざして」をテーマとするまちづくりに向け、行政の志をより高くしていくことが必要であります。まちづくりの実践は行政の先導力が必要であります。と同時に、地域の安心・安全をつくり、人のきずなの大切さとしてその重要性が再認識されました地域コミュニティの確立、住民ネットワーク、住民自治力の確立が必要であります。官民一体となった官民協働の実践するまちづくりが必要であります。

このような総論を各論に落とし込み、より具体的な政策として提示し、早きものは早く、時間をかけるべきものは時間をかけて実践していきたいと思っております。

行政の業務は、多様化、複雑化、高度化しております。その中で奮起の必要はまだありますが、市職員は少人数というハンデを克服しながら頑張っております。また、財政状況の悪化により、すべきものがなかなかできない状況にもあります。これらを踏まえ、市政のトップとして、その役割と責任を遂行すべく、全身全霊をささげるつもりであります。

市民の代表者としての議員の皆様、そして市民一人一人の皆様には、ご理解、ご協力を、高い席からではあります、お願いする次第であります。

本日の臨時議会におきまして、専決事項とともに副市長の人事選任案件を上程させていただきました。課題山積の市政の現状におきまして、副市長の空席は市政に停滞を起こします。副市長との二人三脚、教育長を含めたトロイカ体制が早急に必要であります。

議会の開催の規則に従いまして、最短の開催を決定していただきました議員の皆様には厚く御礼を申し上げます。

本日の円滑なご審議とともに、今後のご指導、ご鞭撻をお願いいたしまして、就任のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

報第12号の上程・説明・質疑・討論・採決

議長（大黒孝行君） 次は、日程により、報第12号 専決処分の承認を求めることについて

(平成24年度下田市一般会計補正予算(第4号))を議題といたします。

当局の説明を求めます。

企画財政課長。

企画財政課長(滝内久生君) 議案件名簿をお開きください。

報第12号 専決処分の承認を求めることについてでございますが、地方自治法第179条第1項の規定により、専第10号 平成24年度下田市一般会計補正予算(第4号)を別紙のとおり専決処分したので、同条第3項の規定により議会の承認を求めるものでございます。

なお、専決の日は平成24年6月19日でございます。

別紙ピンク色の補正予算書及び補正予算の概要をご用意ください。

補正予算の主な内容でございますが、平成24年6月19日の台風4号による被災箇所の復旧経費を補正したものでございます。

それでは、補正予算書の1ページをお開きください。

平成24年度下田市の一般会計補正予算(第4号)は、次に定めるところによるもので、第1条の歳入歳出予算の補正でございますが、第1項は既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ700万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ88億1,137万円としたものでございます。第2項歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」によるということで、予算書の2ページから3ページ記載のとおりでございますが、内容につきましては補正予算の概要によりご説明申し上げます。

恐れ入りますが、補正予算の概要の2ページ、3ページをお開きください。

歳入でございますが、企画財政課関係、18款2項1目1節財政調整基金繰入金700万円の追加は、今回の補正財源として繰り入れるものでございます。

4ページ、5ページをお開きください。

歳出でございますが、企画財政課関係、12款1項1目予備費72万1,000円の増額は、歳入歳出調整額でございます。

総務課関係、2款1項5目0210財産管理事務14万2,000円の増額は、赤根島市有地内道路の土砂除去に係る経費でございます。

市民課関係、3款5項3目1841災害対策事業10万9,000円の増額は、災害対応に係る経費でございます。

産業振興課関係、10款1項5目7216単独林用施設災害復旧事業(6月19日災)82万円の追

加は、林道3路線3カ所の復旧経費、10款1項6目7236単独水産施設災害復旧事業（6月19日災）205万円の追加は、田牛漁港ほか2漁港の復旧経費、10款4項1目7612単独保健休養林施設災害復旧事業（6月19日災）18万9,000円の追加は、保健休養林施設内のあずまや復旧経費でございます。

観光交流課関係、10款4項1目7595単独観光施設災害復旧事業（6月19日災）53万9,000円の追加は、吉佐美はまぼうロード復旧経費でございます。

建設課関係、10款2項3目7418単独河川災害復旧事業（6月19日災）20万円の追加は、河川1カ所の復旧経費、10款2項4目7469単独道路橋梁施設災害復旧事業（6月19日災）173万円の追加は、12路線12カ所の復旧経費でございます。

学校教育課関係、10款3項2目7565単独学校施設災害復旧事業（6月19日災）50万円の追加は、下田中学校外構フェンスに係る復旧経費でございます。

以上、大変雑駁な説明ではございますが、報第12号 専決処分の承認を求めることについてに係る専第10号 平成24年度下田市一般会計補正予算（第4号）の説明を終わらせていただきます。よろしくご承認のほどをお願い申し上げます。

議長（大黒孝行君） 当局の説明は終わりました。

本案に対する質疑を許します。

7番。

7番（沢登英信君） 6月19日災に伴います公共施設の補正がそのほとんどということであろうかと思いますが、ちょうど田植えが終わって稲が大きくなる頃であろうかと思うわけです。そのときの大雨で、やはり田畑の被害はなかったのかと。特にそういう状況ですので、少々の被害がありましても災害にのせずに、自ら修繕をしてしまう、こういうケースもあるんじゃないかと思いますが、それらの点について把握していれば報告をいただきたいと思えます。

議長（大黒孝行君） 産業振興課長。

産業振興課長（山田吉利君） 今の沢登議員の個人の田畑の関係だと思いますけれども、特に今回災害ということではご報告いただいておりませんので、何か被害があった可能性はあるかもしれませんが、私どものほうには話が来ていないということで、今回の予算の中には入っておりません。

議長（大黒孝行君） 7番。

7番（沢登英信君） 報告はなかったということですが、それらの調査はどのよう

な体制になっているのか、再度お尋ねしたいと思います。

議長（大黒孝行君） 産業振興課長。

産業振興課長（山田吉利君） 基本的には、こういった大雨、台風等があれば、翌日なり当日なり、報告があった分についてはすぐに対応いたしますけれども、パトロールはしております。ただ、それは農道、林道とか、そういった公共的なものが主なものでありまして、個人の田畑については、例えば農業委員さんとか、そういったところから連絡いただければ対応できるものは対応できるという体制にしておりますが、今回はたまたまなかったということで、この予算の中には反映されていないということでございます。

以上です。

議長（大黒孝行君） ほかに質疑はありませんか。

3番。

3番（伊藤英雄君） ただいまの産業振興課長の答弁の中に、個人の私有財産である畑、田んぼが自然災害によって損失をこうむった場合、市のほうで修繕が可能であればやるというんですが、そこは明確な基準があるんですか。

台風等において個人の住宅が破損した場合にはやはり市のほうで損害について対応する、このようなことは僕は聞いたことがないんですけども、市の今現在の方針としてはそういうことはあり得ると、こういう見解でしょうか。

議長（大黒孝行君） 産業振興課長。

産業振興課長（山田吉利君） 申しわけありません。今細かい基準とかはありませんが、前回、昨年ですか、やはり個人の田畑、のり面というか、崩れたということで、基準に達すればそういう修繕等是有り得ます。

以上です。

〔「住宅について聞いたんですけれども」と呼ぶ者あり〕

議長（大黒孝行君） 建設課長。

建設課長（土屋範夫君） 個人の住宅の一般的な対応につきましてはございません。ただ、大きな災害等については、国のほうで特別な法律に基づく措置があるということをご承知のとおりでございます。

以上です。

議長（大黒孝行君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大黒孝行君） 質疑はないものと認めます。

お諮りいたします。

本案は委員会に付託することを省略したいと思います。これにご異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大黒孝行君） ご異議はないものと認めます。

よって、委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより討論、採決を行います。

まず、反対意見の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大黒孝行君） 討論はないものと認めます。

採決をいたします。

本案は原案のとおり承認することにご異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大黒孝行君） ご異議はないものと認めます。

よって、報第12号 専決処分の承認を求めることについて（平成24年度下田市一般会計補正予算（第4号））は、原案のとおり承認することに決定いたしました。

議第36号の上程・説明・質疑・討論・採決

議長（大黒孝行君） 次は、日程により、議第36号 副市長の選任についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

市長。

市長（楠山俊介君） それでは、議第36号につきましてご説明を申し上げます。

本案は副市長の選任でございます。選任したい方は、下田市柿崎41番12号、糸賀秀穂さんでございます。年齢は、昭和25年7月23日生まれで、62歳でございます。

糸賀秀穂さんは、昭和49年3月法政大学を卒業され、同年4月に下田市役所に奉職され37年間勤務し、平成23年3月31日に定年退職されました。その間、健康福祉課長、福祉事務所長、総務課長、企画財政課長を歴任されました。市役所退職と同時に、静岡県非常勤職員に任用され、静岡県賀茂健康福祉センターに配属、平成24年7月20日に退職されております。

市民はもとより、職員からも信望が厚く、指導性にも大変すぐれております。副市長とし

て適任者であると考えておりますので、ぜひともご同意をいただけますようお願い申し上げます。よろしくご審議のほどお願いを申し上げます。

議長（大黒孝行君） 当局の説明は終わりました。

本案に対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大黒孝行君） 質疑はないものと認めます。

お諮りをいたします。

本案は委員会に付託することを省略いたしたいと思えます。これにご異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大黒孝行君） ご異議はないものと認めます。

よって、委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより討論、採決を行います。

まず、反対意見の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大黒孝行君） 討論はないものと認めます。

採決いたします。

本案は原案のとおり同意することにご異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（大黒孝行君） ご異議はないものと認めます。

よって、議第36号 副市長の選任については、原案のとおり同意することに決定いたしました。

ここで、暫時休憩をいたします。

午前10時26分休憩

午前10時33分再開

議長（大黒孝行君） 休憩を閉じ、会議を再開いたします。

先ほど同意を得られました糸賀秀穂副市長よりあいさつをお願いいたします。

副市長。

副市長（糸賀秀穂君） おはようございます。

ただいま、大黒議長からお許しをいただきましたので、大変貴重なお時間をちょうだいいたしまして、まことに恐縮に存じますが、一言ごあいさつを申し上げます。

このたびは、副市長選任議案に対しましてご同意を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。身に余る光栄と身の引き締まる思いでございます。

先ほど、市長室におきまして選任辞令を拝命いたしました。ここに謹んでご報告申し上げます。その責任の重大さ、身をもって深く認識し、身の引き締まる思いを改めて強くしております。もとより微力ではございますが、議会制民主主義、二元代表制のもと、地方自治の本旨を踏まえ、市長の補佐役として市民と心を一つに合わせ、住民福祉の増進、下田市の発展のために、誠心誠意力を尽くしてまいる所存でございます。どうか市民の皆様並びに議員の皆様におかれましては、よろしくご指導、ご鞭撻を賜りますよう心から切にお願い申し上げます。甚だ簡単ではございますが、就任のあいさつにかえさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。（拍手）

議長（大黒孝行君） よろしく申し上げます。

議長（大黒孝行君） 以上で、本臨時会に付議されました案件の審議はすべて終了いたしました。

これをもって平成24年8月下田市議会臨時会を閉会いたします。

ご苦労さまでございました。

午前10時35分閉会